

ようこそ

毎月1回30日発行 2023年10月1日発行 第9巻第9号 北インド版

Expatria
Mobility Redefined

全駐在員管理サービスの
ワンストップ・ソリューション

expatriaのカタログを
ダウンロードはこちらをスキャン



+91-95991-98955

お問い合わせください

enquiry@expatria.in



YOKOSO
10
2023 SEP VOL. 105
無料

今月の特集

インド発、新鮮で面白い情報をお届け **7**

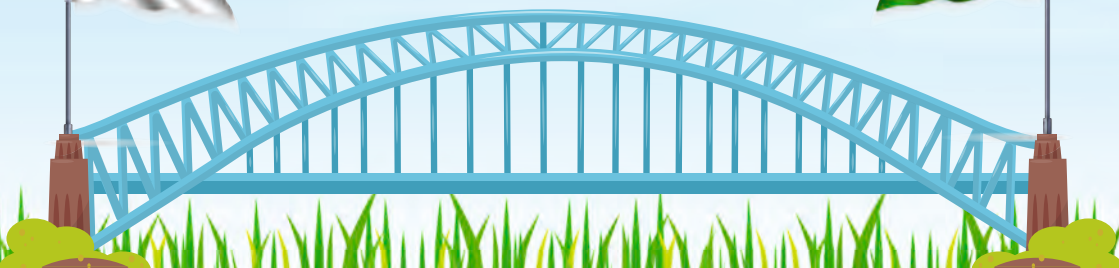


メールでのお問い合わせは
こちらをスキャン

FORMULA GROUP
Mobility Managed.®

フォーミュラ グループは、日本の皆さまが渡れる
インド文化への架け橋です。

私たちは、迷いの境界線無くそうと力を尽くします。





松田博司

日本公認会計士

✉ hiroshi.matsuda@krayman.com



菅原久子

✉ hisako.sugawara@krayman.com



マナン・アガルワル

(Manan Agarwal)

✉ manan.agarwal@krayman.com

源泉税(TCS) - 直接税中央委員会 (CBDT) より、送金自由化スキーム (LRS) 及び海外ツアー・プログラムパッケージの源泉税(TCS) に関する軽減措置が発表されました。

送金自由化スキーム (Liberalized Remittance Scheme: LRS) とは

インド準備銀行の制度で、居住者である個人は、承認当座／資本勘定取引の場合、年間250,000米ドルまで送金できます。

源泉税 (Tax Collected at Source – TCS) とは

一定金額を超える特定の物品取引に対して、物品の販売者が購入者から商品代金と別途徴収し納税する税金です。

背景- 2023年財政法によるTCS税率の引き上げ

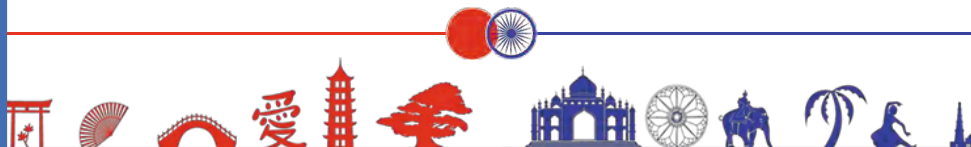
- 2023年財政法以前は、源泉税 (TCS) は以下のように適用されていました
 - ✓ 70万ルピーを超えるインド国外への送金自由化スキーム (LRS) 送金に対して5% (認定金融機関からの融資を財源とする教育目的の送金の場合は0.5%)。
 - ✓ 海外ツアー・プログラム・パッケージの販売に対して5% (購入金額に関わらず)
- 2023年財政法は、贅沢品/富裕層への課税を目的として、源泉税 (TCS) 税率を以下のように引き上げました。
 - ✓ 送金自由化スキーム (LRS) 送金 (教育・医療目的の送金の場合を除く) に対して20% (金額に関わらず)
 - ✓ 海外ツアープログラム・パッケージの販売価格の20%

上記の改正は2023年7月1日より施行されました。

- 以前は、国際クレジットカードの海外での使用は、送金自由化スキーム (LRS) の総枠には含まれていませんでした。しかし、2023年5月の法改正により、海外におけるすべての国際クレジットカード取引が送金自由化スキーム (LRS) の対象となり、海外におけるすべての国際クレジットカード取引に20%の源泉税 (TCS) が適用されることになりました。このため、業界では広く懸念が広がり、政府への陳情が行われました。

2023年6月28日付財務省プレスリリース

国民の騒動を受け、財務省は2023年6月28日、以下の変更を導入するプレスリリースを発表しました。



- ・ 基準額700,000ルピーの回復
 - ✓ LRSに基づくすべての目的および海外ツアー・プログラム・パッケージの源泉税 (TCS) 税率は、支払方法にかかわらず、個人年間70万ルピーまで変更しない
 - ✓ 送金自由化スキームLRS が700,000ルピーまではTCS は適用されませんが、700,000ルピーを超えると、TCSは以下のように適用されます：
 - a) 教育ローンを財源とする教育送金の場合、0.5%。
 - b) 上記(a)以外の教育または医療を目的とする送金の場合、5%。
 - c) その他、20%
 - ✓ ただし、海外ツアーパッケージの購入については、年間700,000ルピーまでは引き続き5%の源泉税 (TCS) が適用され、それ以上の支出については20%の源泉税 (TCS) が適用されます。
- ・ 国際的なクレジットカード取引は送金自由化スキーム (LRS) から除外され、そのような取引は源泉税 (TCS) の対象外となります。これにより、銀行とクレジットカード・ネットワークは、必要なITソリューションを導入する時間を得ることができます。
- ・ 2023年7月1日から2023年10月1日にTCS高税率の適用日が延期されました。2023年9月30日までは、2023年財政法による改正前のTCS税率が引き続き適用されます。

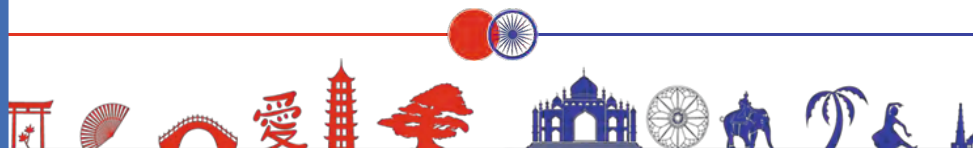
要約

支払い内容	従来の TCS 税率 (2023 年 9 月 30 日まで適用)	新TCS 税率 (2023 年 10 月 1 日以降適用)
ローンによる教育資金を対象とする送金自由化スキーム (LRS)	・ 700,000 インドルピーまで 0% ・ 700,001 インドルピー以上 0.5%	変更なし
治療・教育のための送金自由化スキーム (LRS) (ローン以外のもの)		変更なし
その他の目的のための送金自由化スキーム (LRS)		・ 700,000 インドルピーまで 0% ・ 700,001 インドルピー以上 20%
海外パッケージツアー購入	5% (上限なし)	・ 700,000 インドルピーまで 5% ・ 700,001 インドルピー以上 20%

サーキュラーNo.10 2023年6月30日付、直接税当局 (CBDT) 発行

2023年6月30日、CBDTは、この件に関するよくある質問 (FAQ) への回答という形で、以下のような様々な説明のサーキュラーを発行しました：

- ・ 基準額700,000ルピーの適用
- ・ 送金者から保証を得ることにより、閾値制限を監視するプロセス
- ・ 海外ツアーオペレーターからの海外ツアープログラム・パッケージ購入に対する源泉税 (TCS) の適用
- ・ 単独の旅行・ホテル予約に対する源泉税 (TCS) の非適用
- ・ 教育・医療関連の付随費用に対する源泉税 (TCS) を低率で含めたむ



要約

- ・ 海外滞在中に国際クレジットカードを使用して発生した支出については、追加指示があるまでTCSは適用されない。
- ・ 2023年財政法による改正前、つまり2023年9月30日までは送金目的にかかわらず、自由送金スキーム(LRS)に源泉税(TCS)が適用されるための合算基準額は700,000ルピーです。
- ・ 700,000ルピーという基準額は2023-24会計年度全体に対するものです。基準額を既に超えている場合、2023-24年度の上期、下期に関わらず、自由送金スキーム(LRS)に基づくその後の送金は全て、適用税率による源泉税(TCS)の対象となります。
- ・ 700,000ルピーの基準額の適用;
 - ✓ 認定ディーラーごとではなく、送金者ごと
 - ✓ 独立した自由送金スキーム(LRS) および独立した海外ツアー・プログラム・パッケージ
- ・ 自由送金スキーム(LRS)で送金される海外ツアーパッケージを海外のツアーオペレーターから購入した場合、LRS送金に対する源泉税(TCS)規定ではなく、海外ツアーパッケージ購入に対する源泉税(TCS)規定が適用されます。ツアー・パッケージ・オペレーターの場合、源泉税(TCS)は700,000ルピー以下でも源泉税(TCS)が適用されます。
- ・ -治療目的の送金は、以下のものを含みます。
 - ✓ 患者と付添人の航空券購入
 - ✓ 医療費
 - ✓ その他日常的に必要な費用
- ・ 教育目的の送金には、以下を含みます。
 - ✓ 海外留学する人の航空券購入費
 - ✓ 教育機関に支払う授業料およびその他の費用
 - ✓ その他留学に必要な日常経費

結論

2023年6月28日付のプレスリリースと2023年6月30日付の直接税当局(CBDT)の通達は、この問題における多くの曖昧さに対処するものであり、歓迎すべき動きです。

備考

この記事は、一般的な性質の情報を含んでいます。この情報は一般的なガイダンスに過ぎず、いかなる形でも専門家のアドバイスの代用となるものではありません。読者の皆様が弊社からの具体的なアドバイスを必要とされる場合は、別途弊社までご連絡ください。

クレイマンに関しまして

KrayMan Consultants LLP (KrayMan) は、グルグラムに本社を置き、インド全土の日系クライアントにサービスを提供している会計・アドバイザリーファームです。インド進出、会計、保証、税務、規制、トランザクション・アドバイザリー、M&A、法務、人事・給与サービスなどに特化しています。私たちは、勅許会計士(CPA)、会社秘書、弁護士、MBAで構成されるプロフェッショナルチームです。詳細については、弊社ウェブサイト www.krayman.com/jp をご覧ください。サポートが必要な場合は、communications@krayman.com までご連絡ください。

